

職域での出張肝臓病教室の試み

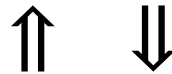
岡山大学病院消化器内科
池田房雄 山本和秀

職場におけるウイルス肝炎の取り扱い

<厚生労働省通知>

ウイルス肝炎は、就業上の問題はない。

就業上の配慮は必要ない。就業禁止や解雇の理由とならない。



事業者が肝炎陽性と知ったら、安全配慮義務あり。

事業者は、合理的な就業上の配慮が必要。

肝炎治療のための入院・通院や副作用等で就労できない労働者に対して、休暇の付与等、特段の配慮をすること。

職場におけるウイルス肝炎の問題点

- 肝炎ウイルスに感染していても、**自覚症状がない**
- 感染経路や治療に対する**国民の理解が十分でない**
- 肝炎患者・感染者に対する**不当な差別**が存在する

ウイルス検査を受けることを躊躇する
慢性肝炎であることを隠している
ウイルス治療のために仕事を休むことが難しい

職場における肝炎対策

検査や治療を受けるどうかは個人の裁量



労働者全員が感染経路や治療を十分理解する
肝炎患者・感染者に対する不当な差別をなくす

一般の人たちへの肝炎啓蒙の必要性

岡山大学病院消化器内科肝臓外来受診者へのアンケート調査結果（H26年1月2月実施）

		通院10年未満 (n=70)	通院10年以上 (n=115)
性別	男性	32(45.7)	61(53.0)
	女性	38(54.3)	54(47.0)
年齢	30歳代以下	6(8.6)	5(4.3)
	40歳代	8(11.4)	10(8.7)
	50歳代	17(24.3)	26(22.6)
	60歳代	24(34.6)	44(38.3)
	70歳以上	15(21.5)	30(26.1)
疾患 (複数回答)	B型肝炎	13(15.6)	27(15.9)
	C型肝炎	21(25.3)	64(37.8)
	脂肪肝.脂肪肝炎	10(12.0)	9(5.3)
	自己免疫性肝疾患	5(6.0)	2(1.1)
	肝硬変	10(12.0)	25(14.7)
	肝臓癌	8(9.6)	29(17.1)
	その他	16(19.2)	13(7.6)

肝臓病教室で知りたいこと

病気や治療のことが
聞きたい

通院10年未満

通院10年以上



新しい治療のことが
聞きたい

職場における肝炎対策

検査や治療を受けるどうかは個人の裁量



労働者全員が感染経路や治療を十分理解する
肝炎患者・感染者に対する不当な差別をなくす

一般の人たちへの肝炎啓蒙の必要性

⇒ 病院で開催する肝臓病教室と
* ニーズが違う
* 病院には来ない人たちへ

職場でのウイルス肝炎研修会の必要性

岡山大学病院肝臓病教室 出張講演を行っています!

- 岡山大学病院肝臓病教室スタッフが
(医師、薬剤師、看護師、ソーシャルワーカー、栄養士など)
企業などへ出向いて、肝臓病に関する色々な講演を行います
- 講演内容や日時など希望に合うようにアレンジします
- 岡山県肝炎拠点病院事業の一環として行いますので
基本的に講演費用などをお願いすることはありません

岡山大学病院 肝炎相談センター

086-235-6851 ijika@adm.okayama-u.ac.jp

<http://kanen.ccsv.okayama-u.ac.jp/index.html>

病院ホームページ、肝炎相談センター季刊誌、電話での問い合わせ

2014年10月～12月に7団体に対して講演を実施

平成26年開催	参加人数	時間	講演者
岡山大学の事務一般職員	30	1時間	医師 / 看護師 / ソーシャルワーカー
商工会議所の会員	80	30分	医師 / 管理栄養士
医療清掃業者の職員	70	30分	医師 / 看護師
健康管理士	20	1時間	医師 / 看護師 / ソーシャルワーカー
社会労務士	50	1時間	医師 / 看護師 / ソーシャルワーカー
医療機器会社の一般社員	20	1時間	医師 / 管理栄養士
医薬品メーカーの一般社員	30	1時間	医師 / 看護師 / ソーシャルワーカー
平成27年開催予定	参加人数	時間	講演者
刑務所の一般職員	80	1時間	医師 / 看護師 / ソーシャルワーカー
消防署員	50	40分	医師 / 管理栄養士
消防署員	50	40分	医師 / 管理栄養士

平成27年開催日程調整中

看護協会、歯科衛生士会、障がい者施設

介護福祉士、ホームヘルパー連絡協議会

警察署

地元百貨店、銀行、公共交通機関

理容生活同業組合、理容美容専門学校

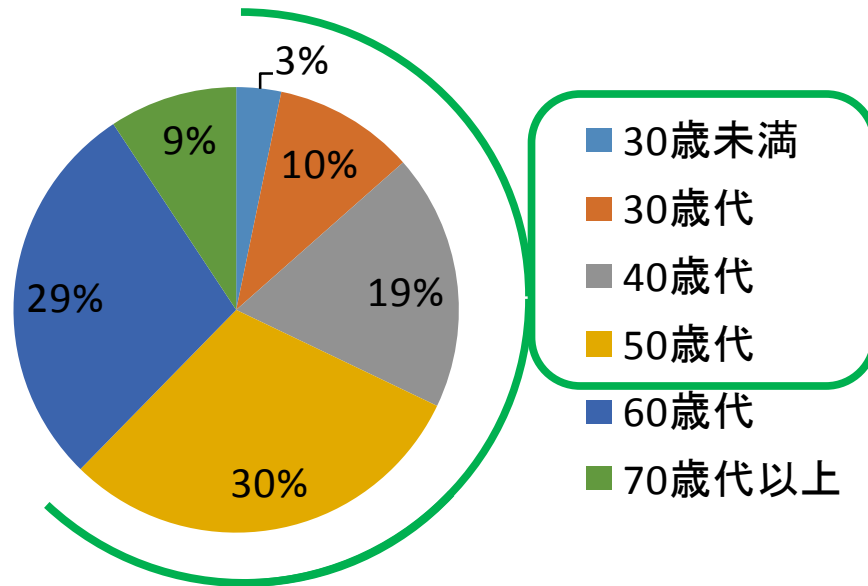
教育委員会

職種により、研修企画担当者の考え方が違う

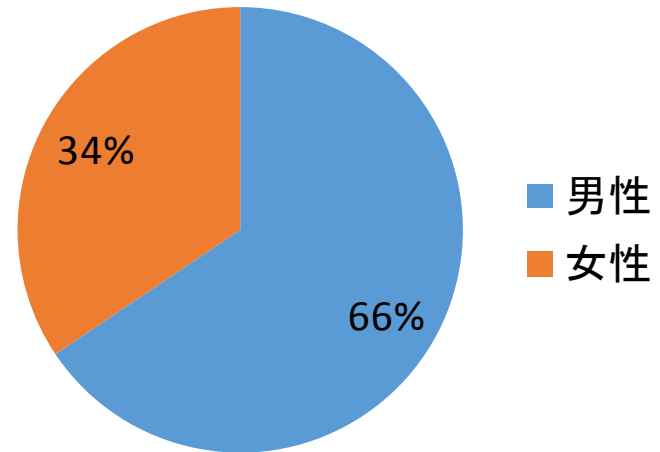
聴講者のアンケート回答結果

(岡山大学職員、商工会会員、清掃業者の180人)

年齢

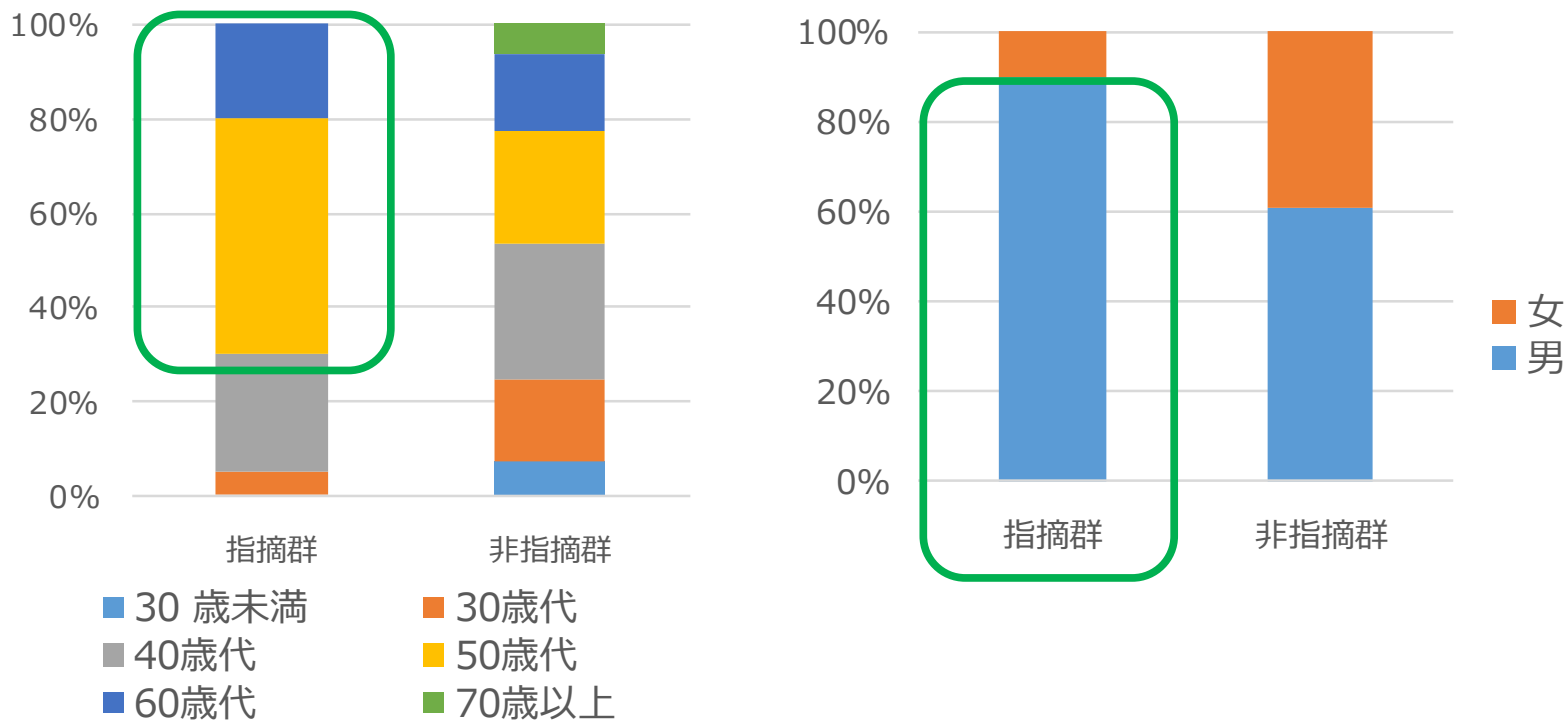


性別



20～50歳代、男性
(今回は、商工会会員の事業者が多く含まれている)

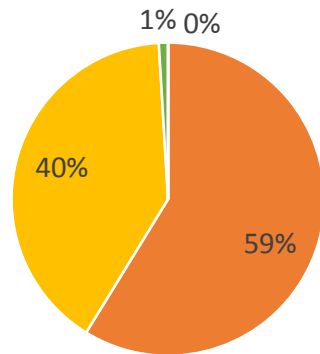
検診で肝機能異常を指摘されている人が 参加者の2割



肝機能異常者の5割は50代、男性が多い

研修後の回答

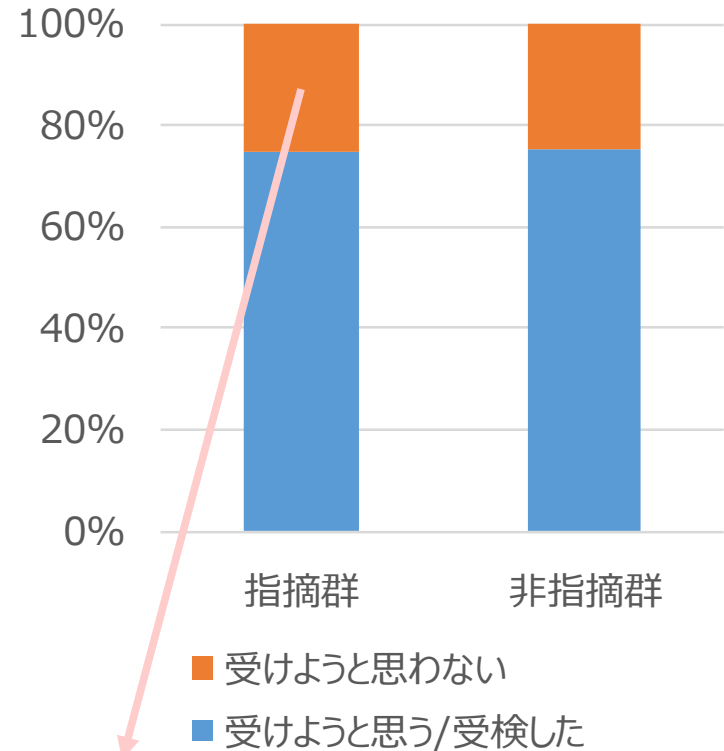
職場の肝臓病に対する
偏見や誤解の解決に
役立つか



- 非常に役立つ
- 少し役立つ
- あまり役立たない
- 全く役立たない

99%の人が役立つと回答

肝炎ウイルス検査を
受けようと思うか



病院へ行く時間がない
しかし、話を聞いて良かった

職場における肝炎対策のまとめ

検査や治療を受けるどうかは個人の裁量



労働者全員が感染経路や治療を十分理解する
肝炎患者・感染者に対する不当な差別をなくす

職場でのウイルス肝炎研修会の必要性



検査や治療を受けやすい職場環境を作る
職場全体で肝炎検診の受検をすすめる



肝炎の早期発見と適切な治療を受けることができる
☆職場での大切な人材の確保と維持に重要

ご清聴ありがとうございました



かんぞうちゃん
岡山大学病院肝臓病教室
キャラクター

